



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

伽藍建って伽藍洞

一人は石垣 人は城一

園長 野田大燈

台風 18 号で甚大な被害を受けられました方々には心よりお見舞い申し上げます。

9 月のお彼岸頃から若竹学園の増築工事の足場取り外し作業が始まり、徐々にではありますが建物の全容が現れつつあります。

黒田節の一節に「人は石垣 人は城」とありますが、立派で頑強な城も一個々々の大小様々な石の組み合わせによって威容を誇っています。この石組、即ち人材なくして学園の運営は成り立ちませんので工事の進捗に並行して、職員体制の見直しを致しております。

入所している子ども達を支援していますのは医療・心理・生活・教育・食事等が一体となった「児童心理治療施設」ですが、新しい建物が子ども達の治療を行うのではありません。必要なことは、この新たな建物を活用して子ども達を支援し治療して行く職員たちです。職員の 1 人 1 人は才能も熱意もある選り抜きの職員ですが、職員間の「報連相」が充分でないと折角の能力者たちも過熱して疲弊してしまいます。

そこで心理・生活・メディカルの職員が情報交換と対応策のために毎日 40 分間の時間を割いてのミーティング時間の設定。心理・生活等個別の

週一回ミーティング。月に 1 度の管理者会議と職員全体会議。そして月 1 度の全職員参加によるコンサルテーションをセッティングしました。

若竹学園は専門職の集合体ですので部門間の隙間を埋めて共通した意識で子ども達への支援が出来れば、願っています。

若竹学園の増改築は 20 幾年の念願でしたが、大切な税金を使つての補助金と多くの方からのご寄附で完成に向かっていきます。

「伽藍洞」と言う言葉があります。立派なものではあるが内部が空っぽ、の意味です。福祉関係に於いて建物は活動のために必要なものです。その活動は職員の熱意と力量と掛かっています。活動実践の状況に応じて多くの方が支援を惜しみません。建物に似合った、否それ以上の活動はすべて職員の双肩に掛かっていると行って過言ではありません。その職員が嬉々として子ども達を支援する意欲をセッティングするのが管理職としての任務ではないだろうかと考えています。

学園では心理治療の一環として園内にハーブ園を設けており、カウンセリングでは「アロマセラピー」を実施しています。またヤギを飼育して「アニマルセラピー」として子ども達の情緒に寄与しています。四国 88 ヵ所遍路巡拝の方々へのお接待は「子どもお接待處」として 3 年を経過、四国 1 の遍路小屋認定も頂いています。 一了一

紫雲ライオンズクラブ来園

8 月 27 日毎年来て下さっている紫雲ライオンズクラブの方々が、今年も来て下さいました。

挨拶を済ませた後、バーベキューをして下さり、お肉や野菜、焼きそばやおにぎりを振舞って下さいました。



紫雲ライオンズクラブの皆様といっしょにバーベキューを楽しめました。おいしかったです。来年もお願いしたいです。(中 2 男子)

その後、和太鼓集団・夢幻の会さんの太鼓演奏を見せていただきました。自分たちと同年くらいの子どもから少し年上の方の迫力ある演奏を聞き、感激しました。

すごく迫力がすごかったです。息ピッタリの演奏が一番心に残っています。(中 2 女子)



最後にスイカ割りを準備して下さっていました。目隠しした後、3 周回ってスタートしました。

周りの声を聴きながら動くのに苦戦しましたが、

何人かでスイカを割ることが出来、おいしく食べることができました。

また、沢山の方々とお話しすることが

出来、子どもたちも喜んでいました。

紫雲ライオンズクラブ様、来園くださり、ありがとうございました。



さつまいものシガーバター焼き

9 月 18 日食育で秋の味覚・さつまいものシガーバター焼きを作りました。茹でて火を通したさつまいもを切って、バターと砂糖で焼き上げました。



男の子と女の子で出来栄えが違ったらしく、男の子たちが「来月も作ってリベンジしたい!」と話していました。



おいしく作るのをがんばった。予想通りおいしかった。

(中 3 男子)

若竹太鼓練習中!!

学園では毎月、和太鼓集団・満天さんに来て頂き、太鼓の練習をしています。夢幻の会さんで太鼓を見せて頂いたこともあり、その後の練習に熱が入り、みんな一生懸命練習していました。

月見茶会で披露することが出来るよう、毎日練習しています。



皆の音が前より合っていて、うでもあがって迫力がある演奏になってきました。(中 1 女子)

青峰・若竹学級だよ

夏休みの補習

夏季休業中、中学生は 5 日間、小学生は 1 日、補習を行いました。これに加えて、中学生は質問教室にも常時数名の生徒が参加していました。

夏休みの課題に熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。

2 学期 始業式

2 学期始業式が 8 / 25 (金) に行われました。



下笠居中学校の八村校長先生から以下のようなお話がありました。

- ①目的をもち、その目的を達成するために目標をもって取り組むこと
- ②やる気スイッチをオンにするためには、やる気がなくても勉強を始めること
- ③覚えるために、繰り返し復習すること・何度も書いて覚えること

久々の登校であったにも関わらず、良い姿勢でしっかりと話を聞くことができていました。八村校長先生からのお話を 2 学期からの学校生活に役立てていってほしいです。

2 学期の目標

「苦手な教科をできるようにがんばる」「得意な教科をもっと得意になるようにがんばる」「ストレスがあっても顔や態度に出さないように努力する」など、よく考えた目標を立てることができました。目標達成に向かって、これまで以上に熱意をもって学校生活を送れることを願っています。



洗濯実習

小学 4 年生は自立活動、小学 5・6 年生は家庭科の時間に靴下の手洗いの実習をしました。

視聴覚教材を活用して、洗濯の仕方を学び、その後、汚れが落ちるまで根気強く洗うことができました。きれいになった靴下を友だちと見せ合いながら喜ぶ姿も見られました。

第 2 回学習の診断

中学 3 年生は、9 / 6 (水) に第 2 回学習の診断が行われました。



普段の学習の成果を発揮し、時間一杯集中して解いていました。

後輩たちにも、中学 3 年生の熱心に取り組む姿が良い手本になっています。

社会見学

9 / 20 (水) に社会見学でニューレオマワールドに行きました。グループに分かれ、友だちや先生と相談しながらいろんな乗り物に乗りました。昼食は、集まってお弁当を食べました。

公共の場でのマナーや友だちと話し合っアトラクションを決める姿等、成長を感じる場面が多く見られ、大変誇らしく思いました。

笑顔の絶えない 1 日になり、子どもたちからも「楽しかった」の声がたくさん聞かれました。



9月20日、毎年恒例のレオマワールドに外出してきました。やはり人気だったのは絶叫系の乗り物、ビバーチェ（ジェットコースター）とパイレーツ（振り子のように揺れる船）で、何度も繰り返し乗っていました。



レオマワールドでのったのりものは、ジェットコースターとパイレーツがよかった(乗り物酔い)けどたのしかったよ。

パイレーツとビバーチェがとても楽しかった。何回のもあきない楽しさだった。またいきたいです。

9月の行事



- 2日 図書館学習
- 16日 図書館学習
- 20日 レオマワールド外出
- 21日 買物学習
- 30日 月見茶会

在籍人数 平成 29 年 8 月 25 日日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	4	1	5
	中学生	5	4	9
	その他	1	0	1
	計	10	5	15
女 子	小学生	0	0	0
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	4	1	5
合計		14	6	20

総合運動公園

増改築工事の関係で、園庭で遊べる時間が少ない為、最近は外に遊びに行くことが増えています。出かける場所は、少年自然の家や総合運動公園です。

先日は希望者で総合運動公園に出掛けました。キャッチボールや当て鬼など自由に遊んだ後は、男子も女子も一緒になって、サッカーをして楽しみました。



編集後記

先日やってきた大型台風。子ども達と、もし土砂崩れが起きたらどうするか考えました。急すぎてソワソワした子ども達でしたが、日頃から準備と心構えをしていきたいと思います。 児童指導員 吉田 加世

第 284 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp/>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 野田 大燈